

2 クロス集計結果等に見る今後の活動に向けての示唆

○推薦時の説明に対する満足度の高い委員は、より多くの内容について説明を受けている。推薦時の説明は、単位民児協会長など民生委員・児童委員活動の経験者をはじめ様々な人によって行われているが、その説明者によって説明の内容には多寡がみられる。また、委員が推薦時に実際に受けた説明と最低限必要と思う説明では、ほとんどの項目で最低限必要と思う説明の割合が高くなっており、新任委員が、推薦時により多くの事項について説明を求めているようすがうかがえる。

○就任時研修については、次第により多くの内容が取り上げられてきているようすがうかがえる（第2章参照）が、多くの内容で「最低限必要」と思う割合が高く、実際の活動を通して課題を感じ、研修への期待を高めていることがうかがえる。

就任時研修に期待する内容は、2期目委員の回答傾向に顕著であり、地域の社会資源、行政や社協との関係など、地域のなかで関係機関等と連携を取りながらネットワークをつくり、チームとして支援活動を展開する上で必要と思われる内容があげられている。

○地域住民の理解度や単位民児協内の連携・コミュニケーションは、よりやりがいのある委員活動に向けた要件の1つであるが、単位民児協内の連携・コミュニケーションでは、とくに「とてもやりがいを感じている」という委員の回答傾向にみられた、「民生委員・児童委員と主任児童委員の間の情報共有や協力体制がとれている」ことが重要な要素となっている。

また、地域住民に理解されていると認識している委員は、さまざまなPR活動を行っている傾向がみられた。主任の場合には地域の行事などへ出向いての顔の見える関係づくりを積極的に行っており、委員のPR活動についての認識が住民の理解度に対する委員の印象と相互に関わっているようすがうかがえる。

○活動上の悩みとして最も多い「プライバシー」についての課題は、特に町村部で強く感じられている。個人情報の入手・管理をめぐる諸課題についても、その内容に地域差がみられた。いずれの地域でも「行政」、「関係機関や住民」からの情報入手に困難を抱えているが、とくに市部で「行政から必要な情報が得られない」ことが、区部では「地域住民や関係機関・団体から情報開示や情報提供を求められたときの対応」への悩みが、他の地域と比較して高くなっている。

(1) 推薦時の説明と就任時の研修 <新任と経験年数3年未満の主任のみ>

ここでは、最近の傾向を探るために、新任と、新任（経験年数3年未満）の主任の調査結果を抜き出してみた。

1) 推薦時の説明の満足度と実際に受けた説明

① 満足度の高い人は、多くの内容について説明を受けている

推薦時の説明の満足度別に「実際に受けた説明」をみると、新任と主任（経験年数3年未満）いずれも、推薦時の説明に対する満足度の高い委員は、全ての項目で回答割合が高く、さまざまな内容の説明を受けていることがわかる。

とくに満足度の差が大きい項目をみると、新任では「行政や社協と民生委員・児童委員（主任児童委員）との関係」、「民児協の組織」、「活動の理念・役割」、「基本的人権の尊重やプライバシー保護」がいずれも30ポイント程度の大きな差がある。

新任（経験年数3年未満）の主任では、「主任児童委員の理念・役割」（36.6ポイントの差）、「基本的人権の尊重やプライバシー保護」、「個別援助や相談・支援活動を行う上での姿勢や援助方法」などがあげられる。（図表3-2-1）

図表3-2-1 推薦時の説明の満足度別にみた「推薦時に実際に受けた説明」
<新任および経験年数3年未満の主任>

（単位%、回答者数は実数）

	回答者数	推薦時に実際に受けた説明											
		て主 な活 動内 容と、 一 般 的 な 活 動 量 に つ い て	つ い て 基 本 的 人 権 の 尊 重 や プ ラ イ バ シ ー 保 護 に つ い て	員 の 理 念 ・ 役 割 に つ い て 民 生 委 員 ・ 児 童 委 員 活 動 （ 主 任 児 童 委 員 ）	に 緊 急 時 や 困 っ た と き の 相 談 先 、 連 絡 方 法 に つ い て	（ 主 任 児 童 委 員 ） と の 関 係 に つ い て 行 政 や 社 協 と 民 生 委 員 ・ 児 童 委 員 活 動	員 児 童 委 員 協 議 会 の 組 織 に つ い て 単 位 民 児 協 、 市 区 町 村 民 児 協 を は じ め と す る 民 生 委	あ り 方 に つ い て 福 祉 票 や 活 動 記 録 の 付 け 方 、 情 報 管 理 の	姿 勢 や 援 助 方 法 に つ い て 個 別 援 助 や 相 談 ・ 支 援 活 動 を 行 う 上 で の	い て 活 動 に 関 わ る 社 会 福 祉 の 制 度 や 政 策 に つ	に 活 動 に 関 わ る 地 域 の 関 係 機 関 や 社 会 資 源	そ の 他	無 回 答
新任委員	573	60.6	46.6	46.2	27.2	25.7	25.7	23.0	19.9	14.8	13.3	16.1	9.1
満足度													
満足できた	240	68.3	63.8	63.8	40.0	42.9	41.3	35.8	30.4	22.9	23.3	15.4	2.5
満足できなかった	317	56.2	34.4	33.8	17.7	12.6	13.9	13.6	11.7	8.5	6.3	16.4	11.7
主任児童委員（経験年数3年未満）	199	73.4	43.2	54.8	20.1	19.1	26.6	10.6	19.1	9.0	13.1	14.6	3.0
満足度													
満足できた	99	79.8	56.6	73.7	28.3	27.3	38.4	18.2	31.3	16.2	21.2	10.1	-
満足できなかった	97	68.0	29.9	37.1	11.3	11.3	14.4	3.1	6.2	2.1	5.2	18.6	6.2

（「満足度」の無回答：新任16人、主任3人を除く）

〔推薦時に実際に受けた説明〕：複数回答・あてはまるものすべて、「推薦時の説明の満足度」：単数回答

※回答を複数選択する設問のクロス集計表を複数掲載する場合には、クロス表を最初に掲載したページの並び順を後半でも活用している。（以下、第3章では同様）

②推薦時の説明内容は説明者によって異なる

推薦時の説明者は、いずれも「単位民児協会長など民生委員・児童委員活動の経験者」、「自治会・町内会の役員」、「行政職員や社協職員」が多い。

説明者別に推薦時の説明内容をみると、「行政職員や社協職員」と「単位民児協会長など民生委員・児童委員活動の経験者」からは、多くの内容の説明がなされていることがわかる。「会長など民生委員・児童委員活動の経験者」は、「プライバシーの保護」や「主な活動内容と一般的な活動量」についての説明が多く、「行政職員や社協職員」では加えて「理念・役割」と「行政や社協との関係」の説明も多い。

主任では、説明者が「自治会・町内会の役員」の場合は新任ほど多くないが、説明者と説明内容の関係についてはほぼ同様の傾向がみられる。(図表 3-2-2)

図表 3-2-2 推薦時の説明者別にみた「推薦時に実際に受けた説明」

<新任および経験年数3年未満の主任>

(単位%、回答者数は実数)

	回答者数	推薦時に実際に受けた説明													
		て主 な活 動内 容と、 一 般 的 な 活 動 量 に つ い て	つ 基 本 的 人 権 の 尊 重 や プ ラ イ バ シ ー 保 護 に つ い て	員 の 理 念 ・ 役 割 に つ い て	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員 活 動 (主 任 児 童 委 員 に つ い て)	に 緊 急 時 や 困 っ た と き の 相 談 先 ・ 連 絡 方 法	行 政 や 社 協 と 民 生 委 員 ・ 児 童 委 員 活 動 (主 任 児 童 委 員 と の 関 係 に つ い て)	員 児 童 委 員 協 議 会 の 組 織 に つ い て	単 位 民 児 協 ・ 市 区 町 村 民 児 協 を は じ め と す る 民 生 委 員 児 童 委 員 協 議 会 の 組 織 に つ い て	あ り 方 に つ い て	福 祉 票 や 活 動 記 録 の 付 け 方 ・ 情 報 管 理 の 付 け 方	個 別 援 助 や 相 談 ・ 支 援 活 動 を 行 う 上 で の 方 法	活 動 に 関 わ る 社 会 福 祉 の 制 度 や 政 策 に つ い て	活 動 に 関 わ る 地 域 の 関 係 機 関 や 社 会 資 源	そ の 他
新任委員	573	60.6	46.6	46.2	27.2	25.7	25.7	23.0	19.9	14.8	13.3	16.1	9.1		
推薦時の説明者	単位民児協の会長や先輩委員など、民生委員・児童委員活動の経験者	248	67.7	58.1	51.2	35.1	26.6	30.6	31.0	24.6	14.1	13.3	14.1	5.6	
	市区町村の民生委員推薦会委員	24	54.2	41.7	58.3	29.2	37.5	29.2	12.5	16.7	25.0	25.0	4.2	8.3	
	自治会・町内会の会長や役員	193	54.9	35.2	36.8	15.5	19.2	17.1	13.0	13.5	10.9	11.4	20.2	10.4	
	市区町村の行政職員や社協職員	79	65.8	49.4	62.0	39.2	41.8	36.7	31.6	27.8	27.8	19.0	15.2	5.1	
	PTA、青少年委員など地域の団体役員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	20	25.0	25.0	10.0	-	-	5.0	10.0	-	-	-	20.0	35.0	
主任児童委員(経験年数3年未満)	199	73.4	43.2	54.8	20.1	19.1	26.6	10.6	19.1	9.0	13.1	14.6	3.0		
推薦時の説明者	単位民児協の会長や先輩委員など、民生委員・児童委員活動の経験者	99	75.8	46.5	59.6	24.2	16.2	27.3	9.1	22.2	7.1	15.2	17.2	2.0	
	市区町村の民生委員推薦会委員	14	64.3	35.7	28.6	28.6	7.1	14.3	7.1	21.4	14.3	7.1	7.1	7.1	
	自治会・町内会の会長や役員	28	64.3	35.7	50.0	14.3	14.3	32.1	14.3	10.7	7.1	7.1	14.3	7.1	
	市区町村の行政職員や社協職員	46	76.1	45.7	60.9	15.2	37.0	30.4	13.0	21.7	13.0	15.2	6.5	2.2	
	PTA、青少年委員など地域の団体役員	2	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	
	その他	7	71.4	42.9	28.6	14.3	-	14.3	14.3	-	14.3	14.3	28.6	-	

(「推薦時に実際に受けた説明」の無回答：新任9人、主任3人を除く)

〔「推薦時に実際に受けた説明」：複数回答・あてはまるものすべて、「推薦時の説明者」：単数回答〕

③ 地域によって推薦時の説明者には特徴がみられる

推薦時の説明者の違いを地域分類別にみると、新任では市部・区部ともに「単位民児協会長など民生委員・児童委員活動の経験者」が多く、次いで「自治会・町内会の役員」となっている。町・村部では、加えて「市区町村の行政職員や社協職員」による説明も多く、さまざまな説明者によって説明がなされていることがわかる。

主任では、とくに町・村部で「市区町村の行政職員や社協職員」による説明が6割を占め、市部・区部は「単位民児協会長や主任児童委員活動の経験者」の割合が高くなっている。(図表 3-2-3)

図表 3-2-3 地域分類別にみた推薦時の説明者

＜新任および経験年数3年未満の主任＞

(単位%、回答者数は実数)

	回答者数	推薦時の説明者						
		単位民児協会の会長や先輩委員など、民生委員・児童委員活動の経験者	市区町村の民生委員推薦会委員	自治会・町内会の会長や役員	市区町村の行政職員や社協職員	P T A、青少年委員など地域の団体役員	その他	無回答
新任委員	573	43.3	4.2	33.7	13.8	-	3.5	1.6
地域分類								
市部	231	41.1	4.3	36.4	13.0	-	4.3	0.9
区部	168	55.4	1.8	30.4	6.0	-	3.6	3.0
町・村部	140	33.6	7.9	31.4	24.3	-	2.1	0.7
主任児童委員(経験年数3年未満)	199	49.7	7.0	14.1	23.1	1.0	3.5	1.5
地域分類								
市部	90	50.0	7.8	17.8	18.9	1.1	3.3	1.1
区部	56	67.9	7.1	17.9	1.8	-	1.8	3.6
町・村部	47	25.5	6.4	4.3	57.4	2.1	4.3	-

(「地域分類」の無回答：新任 34 人、主任 6 人を除く)

〔「推薦時の説明者」、「地域分類」：ともに単数回答〕

2) 推薦時に最低限必要と思う説明内容〔複数回答・あてはまるものすべて〕

◇推薦時には、より多くの情報が必要と感じている【実際に受けた説明との比較】

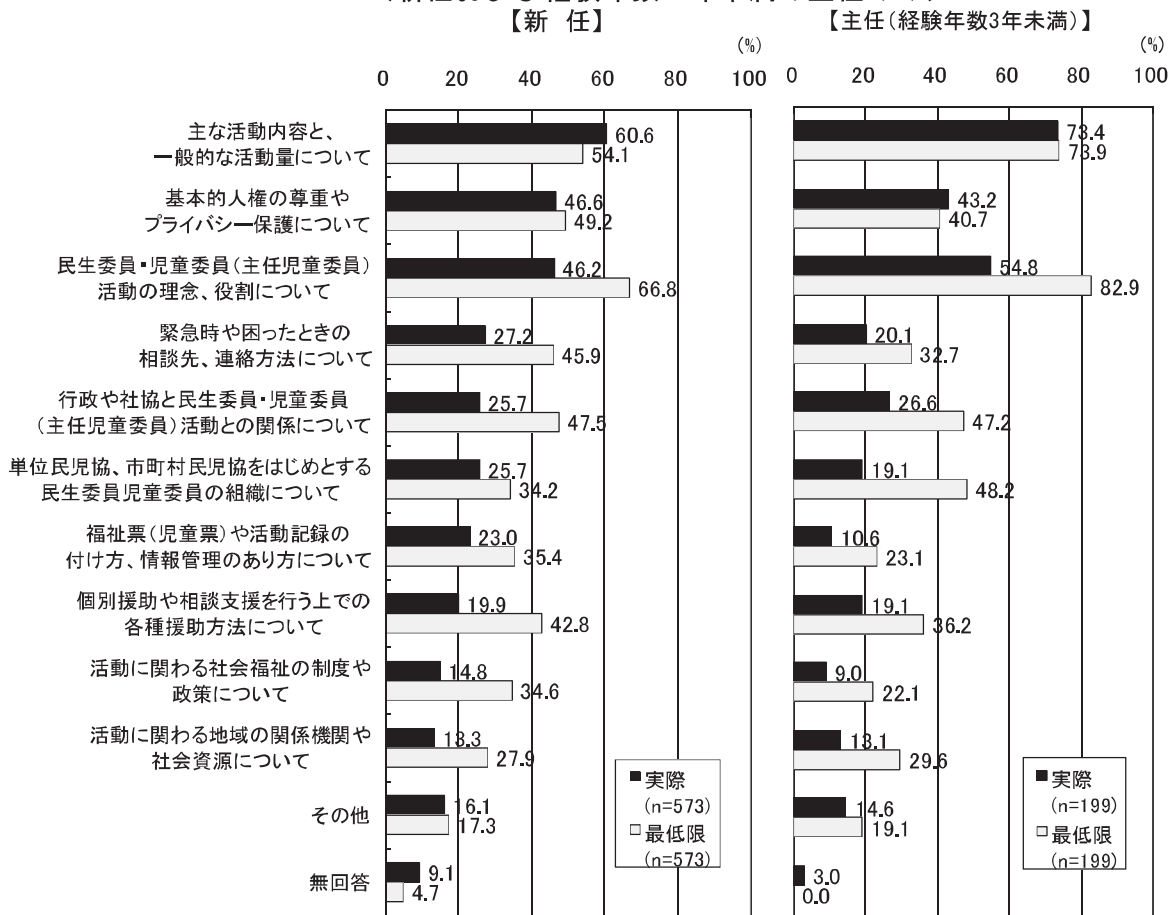
推薦時に実際に受けた説明では、新任、主任ともに「主な活動内容と、一般的な活動量」、「民生委員・児童委員（主任児童委員）の理念、役割」、「基本的人権の尊重とプライバシー保護」が多く、それ以外は3割を下回っている。

推薦時に最低限必要と思う説明内容を実際に受けた説明と比較してみると、「基本的人権の尊重とプライバシー保護」と「主な活動内容と、一般的な活動量」はほぼ同程度で、これを除く他の項目は、最低限必要と思う割合の方がかなり高くなっている。

特に、実際に説明を受けていながら最低限必要と思う割合もさらに多かったのは、新任、主任ともに「委員活動の理念、役割」であった。（図表 3-2-4）

図表 3-2-4 推薦時に「実際に受けた説明」と「最低限必要と思う内容」

<新任および経験年数3年未満の主任のみ>



3) 就任時研修（新任研修等）で求められている研修内容

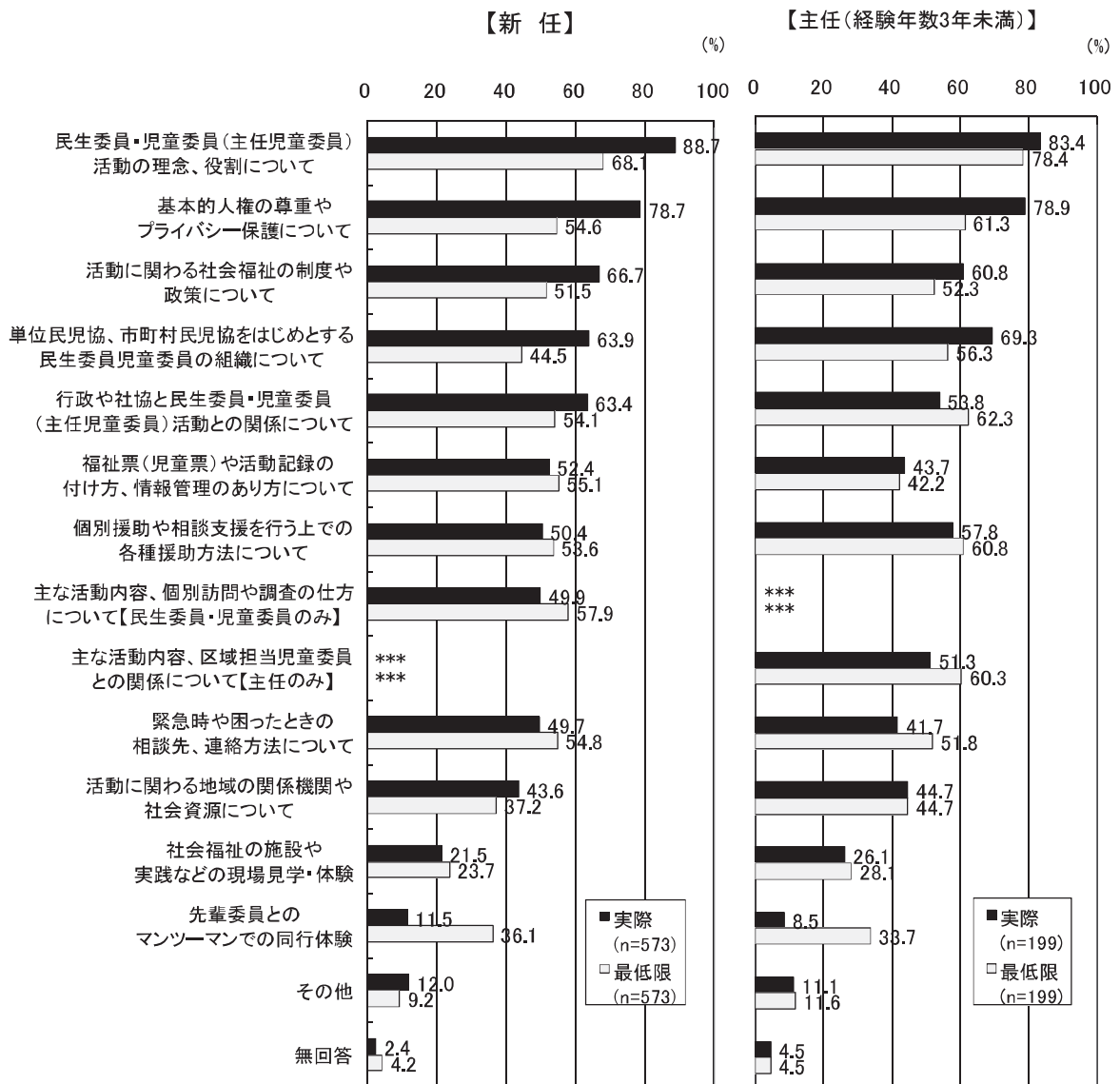
[複数回答・あてはまるものすべて]

① 就任時の研修では多くの項目への期待が高い 【実際に受けた研修との比較】

就任時研修（新任研修等）で実際に受けた内容では、「社会福祉の施設や実践などの現場見学・体験」と「先輩委員とのマンツーマンでの同行体験」を除き、多くの内容が4割～6割程度取り上げられていることがわかる。

就任時研修で実際に受けた内容と最低限必要と思う内容を比較すると、実際には1割前後しか取り上げられていない「先輩委員とのマンツーマンでの同行体験」について、新任・主任共通して3割以上が最低限必要と回答している。（図表 3-2-5）

図表 3-2-5 就任時研修（新任研修等）で
「実際に受けた研修」と「最低限必要と思う内容」
＜新任および経験年数3年未満の主任＞



②就任時の研修に期待する内容は、地域や活動経験によっても特徴がみられる

◇就任時研修（新任研修等）に期待する内容は、地域によって特徴がみられる

就任時研修（新任研修等）で最低限必要と思う内容を地域分類別にみると、新任では主に市部で「民児協の組織について」や「社会福祉の施設や実践などの現場見学・体験」、「先輩委員とのマンツーマンでの同行体験」の割合がやや高くなっている。

主任では、町村部で「基本的人権の尊重やプライバシー保護」や「緊急時や困ったときの相談先、連絡方法」などの割合が高い傾向がみられる。（図表 3-2-6）

図表 3-2-6 地域別にみた「就任時研修（新任研修等）で最低限必要と思う内容」
＜新任と経験年数3年未満の主任＞

（単位%、回答者数は実数）

		就任時研修(新任研修等)で最低限必要と思う内容											
		回答者数	児童委員活動の理念、役割に任じたい児童委員の活動内容	児童委員の活動内容	主な活動内容、個別訪問や調査	主任の活動内容、区域担当児童委員との関係について	主な活動内容、区域担当児童委員との関係について	報告のあり方について	福祉活動の記録の付け方、情報	緊急時や困ったときの相談先、連絡方法について	基本的な権利の尊重やプライバシー	行政や社会福祉委員の活動との関係	個別援助の姿勢や支援方法をい
新任委員		573	68.1	57.9	-	55.1	54.8	54.6	54.1	53.6		53.6	
地域分類	市部	231	70.6	61.5	-	59.3	57.6	52.4	58.4	51.9		51.9	
	区部	168	64.9	60.1	-	53.6	58.9	57.7	52.4	58.3		58.3	
	町・村部	140	68.6	52.1	-	51.4	48.6	55.0	52.1	52.9		52.9	
主任児童委員(経験年数3年未満)		199	78.4	-	60.3	42.2	51.8	61.3	62.3	60.8		60.8	
地域分類	市部	90	78.9	-	61.1	37.8	52.2	61.1	61.1	63.3		63.3	
	区部	56	75.0	-	60.7	44.6	42.9	58.9	66.1	53.6		53.6	
	町・村部	47	85.1	-	63.8	46.8	61.7	68.1	61.7	68.1		68.1	

		就任時研修(新任研修等)で最低限必要と思う内容								
		政治活動に関する社会福祉の制度や	いはじめとする市民協会の組織に協力を	単位の民間協会の関係機関や	社会活動に関する地域の関係機関や	同行体験	先輩委員とのマンツーマンでの	場社会学施設の施設や実践などの現	その他	無回答
新任委員		51.5	44.5	37.2	36.1	23.7	9.2	4.2		
地域分類	市部	53.2	52.4	39.4	42.4	29.4	10.4	3.0		
	区部	48.8	40.5	37.5	38.1	21.4	11.3	2.4		
	町・村部	55.0	40.0	36.4	24.3	17.1	4.3	7.9		
主任児童委員(経験年数3年未満)		52.3	56.3	44.7	33.7	28.1	11.6	4.5		
地域分類	市部	58.9	57.8	47.8	28.9	25.6	10.0	4.4		
	区部	48.2	57.1	41.1	41.1	28.6	14.3	3.6		
	町・村部	46.8	55.3	44.7	34.0	29.8	12.8	2.1		

（「地域分類」の無回答：新任 34 人、主任 6 人を除く）

（「就任時研修で最低限必要と思う内容」：複数回答・あてはまるものすべて、
「地域分類」：単数回答）

◇活動経験による比較～2期目委員は1期目の活動を通じて、新任では気づきにくい視点をもっている

就任時研修（新任研修等）で最低限必要と思う内容について、新任と2期目委員（中堅委員のうち経験年数3年～6年未満の委員）の回答を比較してみた。新任は「先輩委員とのマンツーマンでの同行体験」、「主な活動内容、個別訪問や調査の仕方」、「福祉票や活動記録の付け方、情報管理のあり方」の3項目で2期目委員の回答をわずかに上回っているものの、その他の項目では、2期目委員の回答が高くなっている。とくに、2期目委員が10ポイント程度高い項目は、「地域の関係機関や社会資源」、「行政や社協と委員活動との関係」、「プライバシー保護」、「民児協の組織」など、地域で支援活動をすすめるうえで必要な関係者との連携に関する内容があがっている。（図表3-2-7）

なお、主任については、1期目委員と2期目委員に傾向差はみられなかった。

図表3-2-7 経験年数別にみた「就任時研修（新任研修等）で最低限必要と思う内容」
 <新任と経験年数3～6年未満の中堅>

		就任時研修（新任研修等）で最低限必要と思う内容 （単位%、回答者数は実数）							
回答者数	委員活動・児童委員（主任・児童委員）の理念、役割について	民生委員・児童委員の尊重やプライバシー	基本的権利の尊重やプライバシー	係員（主任・児童委員）活動との関係	行政や社協と児童委員との関係	緊急時や困ったときの相談先、連絡方法について	活動に関する社会福祉の制度や政策について	個別援助の姿勢や援助方法について	主な活動内容、個別訪問や調査
新任委員	573	68.1	54.6	54.1	54.8	51.5	53.6	57.9	
中堅委員（経験年数3～6年未満）	142	73.2	64.8	64.8	61.3	59.9	58.5	54.2	
新任委員	55.1	44.5	37.2	36.1	23.7	9.2	4.2		
中堅委員（経験年数3～6年未満）	53.5	52.8	47.9	31.0	31.7	14.1	4.9		

〔「就任時研修で最低限必要と思う内容」：複数回答・あてはまるものすべて、中堅の「経験年数」：単数回答〕

(2) より充実した委員活動に向けて <中堅と主任を中心に>

1) 単位民児協内での連携やコミュニケーション

◇委員同士が情報共有できていると感じられること

単位民児協内における連携やコミュニケーションが「十分にとれている」と回答した委員は、中堅と主任いずれも「普段から委員同士が互いに情報交換したり、相談し合えるような雰囲気ができている」、「定例会において活動経験から学び、悩みを共有する仕組みができている」ほか、情報共有する仕組みができていると感じている割合が高い。

とりわけ差が大きいのは、「民生委員・児童委員と主任児童委員との間でも情報を共有し、解決策を検討する仕組みができている」であった。(図表 3-2-8)

図表 3-2-8 連携やコミュニケーションの程度別にみた
「単位民児協内での連携やコミュニケーションの内容」<中堅・主任>

(単位%、回答者数は実数)

		単位民児協内での連携やコミュニケーションの内容											
		回答者数	いり る	普 段 か ら 委 員 同 士 が 互 い に 情 報 交 換 し た よ う な 雰 囲 気 が で き て い る	有 す る 仕 組 み が で き て い る	定 例 会 に お い て 、 活 動 事 例 の 検 討 な ど に よ つ て 、 他 の 委 員 の 活 動 経 験 か ら 学 び 、 悩 み を 共 有 す る 仕 組 み が で き て い る	仕 間 で も 情 報 を 共 有 し 、 解 決 策 を 検 討 す る 仕 組 み が で き て い る	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員 と 主 任 児 童 委 員 と の 間 で も 情 報 を 共 有 し 、 解 決 策 を 検 討 す る 仕 組 み が で き て い る	を 部 会 に お い て 、 情 報 を 共 有 し 、 事 業 内 容 を 検 討 し 合 う 仕 組 み が で き て い る	協 定 の 委 員 に 負 担 が 偏 ら な い よ う 、 民 児 協 内 で 分 担 す る 仕 組 み が で き て い る	そ の 他	特 に な い 、 わ か ら な い	無 回 答
中堅委員		463	83.8	76.9	59.8	42.1	30.7	4.1	0.2	0.2			
シ ョ ウ ム ニ コ ウ の 程 度	十分にとれている	143	94.4	88.1	74.1	53.1	44.1	4.2	-	-			
	ある程度とれている	320	79.1	71.9	53.4	37.2	24.7	4.1	0.3	0.3			
主任児童委員		480	78.5	64.0	58.8	39.0	20.6	2.5	0.8	0.2			
シ ョ ウ ム ニ コ ウ の 程 度	十分にとれている	134	94.0	80.6	83.6	52.2	29.1	1.5	-	-			
	ある程度とれている	346	72.5	57.5	49.1	33.8	17.3	2.9	1.2	0.3			

〔「単位民児協内での連携やコミュニケーションの内容」：複数回答・あてはまるものすべて、
「単位民児協内におけるコミュニケーションの程度」：単数回答〕

2) 地域住民へのPR活動

◇ 理解されていると感じている委員ほどPR活動に力を入れている

地域住民の民生委員・児童委員活動に対する理解度別に「地域住民へ向けたPR活動」の内容をみると、中堅、主任ともに地域住民に「(とても+ある程度)理解されている」と思っている委員は、「(あまり)理解されていない」と思っている委員と比べ、さまざまなPR活動を行っていることがわかる。

特に、主任に注目すると、「(とても+ある程度)理解されている」と思っている委員は「自治会・町内会の会合」、「地域の行事」、「福祉施設の行事」などへ直接参加して説明を行い、顔の見える関係づくりを通じたPR活動を行っているようすがうかがえる。(図表3-2-9・3-2-10)

図表3-2-9 住民の理解度別にみた「地域住民へのPR活動」＜中堅＞

(単位%、回答者数は実数)

	回答者数	地域住民へのPR活動												
		委員や単 位民児協 の活動 紹介や 活動報 告を掲 載	市区町村 の広報 や社協 の活動 紹介や 活動報 告を掲 載	「自己 紹介カ ード(「 PRカ ード」 を活用 して、 訪問や 情報提 供の際 に説明 、配布 している	自治会・ 町内会 の会合 など、 地域の 関係団 体等 へ訪問 して説 明して いる	単位の 民児協 として 催しも のを出 している	地域の 行事(夏 祭りや 福祉祭 りなど) の場 で、	もの を出し ている 場 で、	福祉施 設の行 事(バ ザーや 夏祭り 、地域 住民と の交流 会など) の場 で、	単位の 民児協 として 催しも のを出 している	広報紙 を作成 している	単位の 民児協 で独自 に、	その他	特にな い
中堅委員	507	49.3	37.9	37.5	32.3	28.0	13.6	0.4	12.8	7.9	1.0			
理解度	理解されていると思う	395	49.6	40.5	39.5	34.2	29.4	15.2	0.5	12.4	7.6	1.0		
	理解されていないと思う	109	47.7	29.4	29.4	26.6	22.9	8.3	-	14.7	9.2	-		

〔「地域住民へのPR活動」：複数回答・あてはまるものすべて、「住民の理解度」：単数回答〕

図表 3-2-10 住民の理解度別にみた「地域住民へのPR活動」＜主任＞

(単位%、回答者数は実数)

		地域住民へのPR活動											
		回答者数	市区町村の広報や活動報告を掲載している	「自己紹介カード（PRカード）」を活用している	「自己紹介カード（PRカード）」を配布している	自治会・町内会の会合など、地域の関係団体等へ主任児童委員として訪問し説明している	地域の行事（夏祭りや福祉祭りなど）の場、主任児童委員として出席し説明している	福祉施設（パザールや夏祭り、地域住民との交流会など）の場、主任児童委員として出席し説明している	単位の民協で独自に作成しているホームページ	単位の民協で独自に作成しているホームページ	その他	特になし	無回答
主任児童委員		544	25.9	23.3	26.3	50.4	37.3	14.5	0.6	15.1	10.1	0.9	
理解度	理解されていると思う	116	35.3	31.0	36.2	69.0	50.0	25.0	1.7	15.5	2.6	-	
	理解されていないと思う	422	23.5	21.1	23.9	45.5	33.9	11.6	0.2	14.7	12.3	1.2	

〔「地域住民へのPR活動」：複数回答・あてはまるものすべて、「住民の理解度」：単数回答〕

3) 活動上の悩みや苦勞

①情報把握やプライバシーの課題は経験年数に関わらず大きな悩みとなっている

経験年数別の活動上の悩みや苦勞をみると、「プライバシー」についてはいずれも上位にあげられ、主任では、経験年数が高まるにつれて割合が高くなっている。

「虐待の疑いなど、予防や早期発見につながる情報把握」については、中堅の回答が新任の回答よりも10ポイント程度上回っており、ある程度活動が深まって直面する課題であることがうかがえる。

さらに、新任と3年未満の主任では、「援助を必要とする人への援助の範囲、支援の方法」が2割を超え、2期目以上の委員の割合より高く、経験によって支援の方法など活動が高められている様子が見られる。(図表3-2-11)

図表3-2-11 経験年数別にみた「活動上の悩みや苦勞」

<新任・中堅・主任>

(単位%、回答者数は実数)

	回答者数	活動上の悩みや苦勞										
		プライバシーにか 戸惑う	社会福祉の制 度改正が多く、 知識や	虐待の疑いなど、 予防や早期発見に つながる情報把握が しにくい	配布物や調査など、 行政や社協からの 依頼事項が多すぎる	会議や研修などにと られる時間が多 すぎる	訪問先に、民生委員・ 児童委員として受け 入れてもらえないこ とがある	町内会や自治会の行 事、慶弔などの 負担が大きい	援助を必要とする人 への援助の範囲、 支援の方法がわか らない	行政や社協の協力が 得にくいことが ある	援助が困難な場合 の相談先が判断し にくい	
新任委員	573	67.5	31.9	23.4	18.0	10.1	7.9	5.6	23.7	2.8	6.5	
中堅委員	507	64.9	34.9	32.9	20.1	10.1	10.1	9.9	8.1	7.5	5.1	
経験年数	3～6年未満	142	62.7	31.7	32.4	16.2	9.2	9.9	11.3	10.6	9.9	9.2
	6～9年未満	171	67.8	36.8	32.2	17.5	8.2	7.6	7.0	10.5	5.8	3.5
	9年以上	179	63.1	35.2	32.4	24.6	12.8	12.3	11.7	4.5	7.8	3.9
主任児童委員	544	51.8	13.6	44.3	5.5	16.5	7.9	8.1	18.6	3.9	2.2	
経験年数	3年未満	199	45.7	10.1	42.7	7.5	21.6	5.0	8.5	26.1	1.5	3.0
	3～6年未満	104	46.2	11.5	48.1	3.8	16.3	11.5	7.7	17.3	4.8	2.9
	6～9年未満	127	58.3	14.2	41.7	4.7	13.4	9.4	7.1	15.7	6.3	1.6
	9年以上	107	60.7	22.4	47.7	4.7	12.1	8.4	8.4	8.4	4.7	0.9

(単位%、回答者数は実数)

		活動上の悩みや苦勞										
		に事務局任せで委員の主体性が発揮しにくい	民児協内に、困っていることを相談できる仲間や先輩がいない	相談件数が多すぎる	受け持ちの世帯数が多すぎる【民生委員・児童委員のみ】	民生委員・児童委員と異なっており、地域が広すぎる【主任のみ】	活動区域が設定されていない【主任のみ】	活動区域が設定されている【主任のみ】	区域担当の児童委員との連携が取りにくい【主任のみ】	その他	特にない	無回答
新任委員		0.7	0.9	1.2	13.1	-	-	-	6.8	3.7	6.3	
中堅委員		2.0	0.8	0.6	12.2	-	-	-	9.7	3.9	4.5	
経験年数	3～6年未満	1.4	-	0.7	12.0	-	-	-	12.0	4.9	4.9	
	6～9年未満	0.6	0.6	-	9.9	-	-	-	8.8	4.1	5.3	
	9年以上	2.8	1.1	1.1	14.5	-	-	-	8.4	3.4	3.9	
主任児童委員		3.1	1.1	1.1	-	18.9	7.9	6.6	10.5	4.4	5.9	
経験年数	3年未満	2.0	0.5	-	-	18.6	6.0	5.5	10.6	5.5	6.5	
	3～6年未満	3.8	2.9	1.0	-	20.2	8.7	6.7	16.3	1.9	8.7	
	6～9年未満	5.5	0.8	1.6	-	22.8	7.9	7.9	7.9	4.7	4.7	
	9年以上	1.9	0.9	2.8	-	13.1	10.3	6.5	7.5	4.7	3.7	

〔「活動上の悩みや苦勞」：複数回答・3つまで、「地域分類」：単数回答〕

② プライバシーの悩みは、町村部で特に高い

中堅・主任の活動上の悩みを地域分類別にみると、いずれも第1位に「プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う」があがっているが、特に町村部で高く、中堅で8割、主任で6割台となっている。中堅では、区部で「訪問先に受け入れてもらえない」や「配布物や調査などが多い」の割合がやや高い傾向がみられる。

また、主任の場合、市部では、「予防や早期発見につながる情報把握」の悩みが、区部では、「援助を必要とする人への援助の範囲、支援の方法」、「会議や研修にとられる時間」などの悩みが高くなっている。(図表 3-2-12)

図表 3-2-12 地域分類別にみた「活動上の悩みや苦勞」＜中堅・主任＞

(単位%、回答者数は実数)

	回答者数	活動上の悩みや苦勞										
		プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う	情報福祉の追いつかない	つながるの疑いなど、予防や早期発見に情報把握がしにくい	虐待の情報把握が多すぎる	配布物や調査など、行政や社協からの依頼事項が多すぎる	会議や研修などにとられる時間が多すぎる	訪問先に、民生委員・児童委員(主任児童委員)として受け入れてもらえないことがある	町内会や自治会の行事、慶弔などの負担が大きい	困、支援の方法がわからない	援助を必要とする人への援助の範囲	行政や社協の協力が得にくいことがある
中堅委員	507	64.9	34.9	32.9	20.1	10.1	10.1	9.9	8.1	7.5	5.1	
地域分類	市部	173	58.4	36.4	33.5	20.2	9.2	8.7	9.8	6.4	7.5	2.9
	区部	154	59.1	31.8	32.5	24.0	12.3	13.6	13.0	8.4	7.1	7.8
	町・村部	145	78.6	37.2	31.7	14.5	7.6	8.3	6.9	10.3	8.3	5.5
主任児童委員	544	51.8	13.6	44.3	5.5	16.5	7.9	8.1	18.6	3.9	2.2	
地域分類	市部	228	47.4	16.7	47.4	5.3	13.2	6.6	7.5	15.4	3.5	1.8
	区部	161	47.8	9.9	45.3	9.9	29.2	9.3	12.4	24.2	3.1	2.5
	町・村部	127	63.8	11.8	39.4	0.8	9.4	7.9	5.5	17.3	6.3	3.1

	活動上の悩みや苦勞										
	事務局任せで委員の主体性が発揮しにくい	民児協内に、困っていることを相談できる仲間や先輩がいない	相談件数が多すぎる	委員・児童委員の世帯数が多すぎる【民生委員・児童委員のみ】	受け持ちの世帯数が多すぎる【民生委員・児童委員と異なって、地域が広すぎる【主任のみ】】	民生委員・児童委員と異なって、地域が広すぎる【主任のみ】	活動区域が設定されていないので、活動しにくい【主任のみ】	区域担当の児童委員との連携が取りにくい【主任のみ】	その他	特にない	無回答
中堅委員	2.0	0.8	0.6	12.2	-	-	-	9.7	3.9	4.5	
地域分類	市部	1.2	0.6	0.6	16.8	-	-	10.4	4.6	5.2	
	区部	1.3	-	0.6	9.7	-	-	9.7	3.2	5.8	
	町・村部	2.1	0.7	0.7	8.3	-	-	7.6	4.1	2.8	
主任児童委員	3.1	1.1	1.1	-	18.9	7.9	6.6	10.5	4.4	5.9	
地域分類	市部	2.2	1.3	1.3	-	20.6	7.9	8.3	10.1	6.1	5.7
	区部	4.3	0.6	1.2	-	15.5	6.2	4.3	10.6	3.7	5.6
	町・村部	3.9	1.6	0.8	-	20.5	11.0	7.1	11.0	2.4	4.7

(「地域分類」の無回答：中堅 35 人、主任 28 人を除く)
 「活動上の悩みや苦勞」：複数回答・3つまで、「地域分類」：単数回答

③ 個人情報の取り扱いに対する悩みや苦勞の内容は、地域によって特徴がみられる

個人情報の取り扱いについての悩みや苦勞を地域分類別にみると、中堅・主任ともに地域を問わず、「行政」、「関係機関や地域住民」からの情報入手に困難を抱えている様子が見られる。

中堅の場合、市部で「行政から必要な情報が得られない」ことが、区部では「地域住民や関係機関・団体への情報開示や情報提供」がとくに高くなっている。(図表 3-2-13)

図表 3-2-13 地域分類別にみた「個人情報の取り扱いについての悩みや苦勞」
 <中堅・主任>

	回答者数	個人情報の取り扱いについての悩みや苦勞											
		個人情報が得にくい	関係機関や福祉施設(学校)への必要情報が得にくい	行政から必要な情報が得にくい	地域住民や関係機関・団体からの情報提供を求められたときに、どこまで対応してよいか悩む	地域の共有化しているのか判断に困る	複数の相談機関やサークルが重複しているため、どこまで情報を共有化しているのか判断に困る	報告したが、その結果についてフォローアップされない	行政などから個別ケースの状況把握を依頼され個人情報(児童票)の作成や訪問調査活動などが福祉情報保護法にふれないか心配	本人や家族の理解、同意が得にくい	要援護者の情報の関係機関との共有について、かーと不安を抱かれないか心配	その他	特になし
中堅委員	507	50.7	47.5	40.4	25.6	13.8	10.5	9.7	6.5	2.8	11.4	6.3	
地域分類	市部	173	51.4	56.1	38.2	24.9	14.5	9.8	8.1	9.2	1.7	9.8	5.8
	区部	154	54.5	42.9	48.7	29.9	16.2	10.4	11.0	1.9	1.9	10.4	3.9
	町・村部	145	50.3	44.8	35.9	23.4	12.4	13.1	11.0	8.3	3.4	13.8	6.2
主任児童委員	544	52.9	31.8	24.1	17.3	20.2	3.7	5.9	3.1	2.0	15.6	6.4	
地域分類	市部	228	56.1	35.1	24.6	18.0	20.6	2.6	9.6	3.9	2.6	14.5	3.5
	区部	161	50.3	28.6	24.8	15.5	23.6	3.7	3.1	1.9	2.5	16.8	8.1
	町・村部	127	50.4	31.5	23.6	19.7	18.1	5.5	3.9	3.9	0.8	17.3	7.1

(「地域分類」の無回答：中堅 35 人、主任 28 人を除く)

[「活動上の悩みや苦勞」：複数回答・あてはまるものすべて、「地域分類」：単数回答]

(3) 「とてもやりがいを感じている」委員の活動にみる特徴<中堅・主任>

① 特にやりがいを感じている委員は、「地域への貢献」や「自分の成長」を実感している割合が高い

「とてもやりがいを感じている」委員の具体的なやりがいの内容をみると、中堅と主任ともに「地域の福祉活動（児童福祉・子育て支援活動）推進に貢献できた」や「活動を通じて自分自身が成長できた」が高くなっており、一方、「活動を通じて仲間ができた」や「地域の活動を知ることができた」などはむしろ少ない傾向がみられる。（図表 3-2-14）

図表 3-2-14 やりがいの程度別にみた「委員としてのやりがいや支えの内容」
<中堅・主任>

(単位%、回答者数は実数)

	委員としてのやりがいや支えの内容													
	回答者数	活動を通じて自分自身が成長できた	地域の福祉活動推進に貢献できた	地域の児童福祉・子育て支援活動の推進に貢献できた	地域住民や身の回りの組織や団体の活動をj知ることができた	困っている人を助けることができた	活動を通じて仲間ができた	住民や相談にきた人から感謝やねぎらいのことばをかけてもらった	地域社会やお世話になったことへの恩返しができた	地域の人々の認知や協力が得られた	活動が自分の生活の「はり」につながっている	その他	特に思い当たらない	無回答
中堅委員	467	46.5	45.4	-	39.0	35.3	32.8	32.5	24.6	24.0	9.9	2.4	-	0.2
やりがいの程度 とてもやりがいを感じている	100	56.0	54.0	-	35.0	39.0	20.0	33.0	25.0	25.0	16.0	4.0	-	-
主任児童委員	524	42.9	-	60.1	52.3	15.1	41.4	7.6	16.6	13.0	9.4	2.5	0.8	-
やりがいの程度 とてもやりがいを感じている	77	59.7	-	71.4	36.4	19.5	33.8	9.1	19.5	23.4	15.6	1.3	-	-

〔「委員としてのやりがいや支えの内容」：複数回答・3つまで、「やりがいの程度」：単数回答〕

② 民生委員・児童委員と主任児童委員との連携の進展度が、やりがい度の高さにつながっている

「とてもやりがいを感じている」委員は、単位民児協内での連携やコミュニケーションについて、中堅と主任共通に「普段から委員同士が互いに情報交換したり、相談し合えるような雰囲気ができている」、「民生委員・児童委員と主任児童委員との間で情報を共有し、解決策を検討する仕組みができている」ことを評価しており、いずれも平均を10ポイント以上、上回っている。このことは、主任に限らず、単位民児協内での民生委員・児童委員と主任児童委員間の連携やコミュニケーションの促進が、やりがい度を高める重要なポイントであることを示唆しているといえる。(図表3-2-15)

図表3-2-15 やりがいの程度別にみた「単位民児協内での連携やコミュニケーション」
 <中堅・主任>

(単位%、回答者数は実数)

	回答者数	単位民児協内での連携やコミュニケーションの内容								
		いり普有て定仕間民を部協特 る、段、す、例、組、生、会、検、内、定 相、から、す、他、み、み、民、に、討、で、分、の 談、ら、仕、の、の、の、の、の、の、の、の、の し、合、組、委、活、活、活、活、活、活、活、活、活 合、え、み、員、動、動、動、動、動、動、動、動、動 え、る、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、 よ、う、互、互、互、互、互、互、互、互、互、互、 う、な、に、に、に、に、に、に、に、に、に、に、 情、報、交、換、し、た が、で、き、て、い、る	76.9	59.8	42.1	30.7	4.1	0.2	0.2	
中堅委員	463	83.8	76.9	59.8	42.1	30.7	4.1	0.2	0.2	
のやり 程 度 が い	とともやりがいを感じている	91	90.1	78.0	71.4	45.1	36.3	6.6	-	-
主任児童委員	480	78.5	64.0	58.8	39.0	20.6	2.5	0.8	0.2	
のやり 程 度 が い	とともやりがいを感じている	71	87.3	67.6	77.5	54.9	28.2	2.8	-	-

〔「単位民児協内での連携やコミュニケーションの内容」：複数回答・あてはまるものすべて、
 「やりがいの程度」：単数回答〕

③ とくにやりがいを感じている委員は、PR活動を積極的に行っている

「とてもやりがいを感じている」委員の地域住民へのPR活動の内容をみると、中堅と主任共通して「PRカードの活用」とともに、「自治会・町内会への会合」や「地域の行事（夏祭りや福祉祭りなど）」、「福祉施設の行事（バザーや夏祭り、地域住民との交流会など）」の割合が高く、これらの参加・協力活動をPR活動として積極的にとらえて取り組んでいる傾向がうかがえる。（図表 3-2-16・3-2-17）

図表 3-2-16 やりがいの程度別にみた「地域住民へのPR活動」＜中堅＞

		地域住民へのPR活動 (単位%、回答者数は実数)											
やりがいの程度	回答者数	地域住民へのPR活動										無回答	
		委員や市町村の広報や社協紹介や活動紹介や活動報告を掲載している	市区町村の広報や社協紹介や活動報告を掲載している	「自己紹介カード（PRカード）」を配布している	「自己紹介カード（PRカード）」を配布している	自治会・町内会の会合など、地域の関係団体等へ訪問して説明している	地域の行事（夏祭りや福祉祭りなど）の場で、単位の協賛として催しものを出している	地域の行事（夏祭りや福祉祭りなど）の場で、単位の協賛として催しものを出している	福祉施設の行事（バザーや夏祭り、地域住民との交流会など）の場で、単位の協賛として催しものを出している	福祉施設の行事（バザーや夏祭り、地域住民との交流会など）の場で、単位の協賛として催しものを出している	広報紙を作成している		単位の協賛で作成している
	中堅委員	507	49.3	37.9	37.5	32.3	28.0	13.6	0.4	12.8	7.9	1.0	
とてもやりがいを感じている	100	53.0	52.0	42.0	41.0	35.0	15.0	-	9.0	5.0	2.0		

〔「地域住民へのPR活動」：複数回答・あてはまるものすべて、「やりがいの程度」：単数回答〕

図表 3-2-17 やりがいの程度別にみた「地域住民へのPR活動」＜主任＞

(単位%、回答者数は実数)

	地域住民へのPR活動											
	回答者数	市区町村の広報や活動報告を掲載している	「自己紹介カード(PRカード)」、配布している	自治会・町内会の会合など、地域関係団体等へ主任児童委員として訪問し説明している	地域の行事(夏祭りや福祉祭りなど)の場に出席し説明している	福祉施設(パザールや夏祭り、地域住民との交流会など)の場に出席し説明している	単体民児協で独自に作成しているホームページ	単体民児協の活動を紹介している	その他	特になし	無回答	
主任児童委員	544	25.9	23.3	26.3	50.4	37.3	14.5	0.6	15.1	10.1	0.9	
のやりがいの程度が低い	ともやりがいを感じている	77	26.0	39.0	37.7	62.3	49.4	13.0	-	18.2	1.3	-

〔「地域住民へのPR活動」：複数回答・あてはまるものすべて、「やりがいの程度」：単数回答〕

(4) 今後の単位民児協活動の強化に向けて〈中堅・主任〉

① 地域差はあっても、委員自身は個別援助活動の強化とともに、まちづくりや地域活動を重視している

今後、自身が力を入れたい活動は、中堅では、「災害時に備えての救助活動のネットワークづくり」と「高齢者や障害者、児童などに関する個別援助活動の強化」が多くあげられている。今後、自身が力を入れたい活動を地域分類別にみても、多少の違いはあるものの上位4項目については同様となっている。差異としては、市部で「災害時に備えての救助活動のネットワークづくり」、区部では「安全・安心のまちづくりに向けた取り組み」、町村部では「行政の協力者としての活動の強化」の回答が全体平均に比べ多くなっている。

主任では、「行政、児童相談所、学校などとの連携・協働活動」が地域共通して第一位にあげられている。地域分類別にみた特徴としては、区部で「地域全体で子育て家庭を支援するための啓発活動」と「サロン、子どもの居場所づくりなど、地域の子どもと子育て家庭を支援する活動の推進」が、市部・町村部では、「区域担当の児童委員とのコミュニケーション強化」と「行政、児童相談所、学校などとの連携・協働活動」の割合がやや高い傾向がみられる。(図表 3-2-18・3-2-19)

図表 3-2-18 地域分類別にみた「今後、自身が力を入れたい活動」〈中堅〉

(単位%、回答者数は実数)

	今後、自身が力を入れたい活動															
	回答者数	まちづくり	災害時に備えての救助活動のネットワーク	高齢者や障害者、児童などに関する個別援助活動の強化	高齢者の活性化	ふれあい・いきいきサロンなどの地域活動	安全・安心のまちづくりに向けた取り組み	地域の支援ニーズの発見機能の強化	子育て環境・児童健全育成環境の整備	地域の住民の意向を行政に意見具申する機能の強化	行政の協力者としての活動の強化	団体の解決に向けた社会資源(相談機関、推進)	福祉のまちづくりに向けた取り組み	在宅支援をすすめるネットワークづくり	権利擁護制度(成年後見制度・日常生活自立支援事業)のPR	その他
中堅委員	507	62.3	60.2	44.4	43.4	28.2	26.4	25.2	22.7	22.1	21.7	18.5	8.9	1.2	0.6	
地域分類																
市部	173	68.8	60.1	43.4	41.6	31.8	30.6	22.5	20.2	22.5	21.4	15.6	10.4	1.7	0.6	
区部	154	56.5	58.4	44.8	48.7	29.2	25.3	25.3	13.6	22.7	21.4	19.5	7.8	1.3	1.3	
町・村部	145	60.7	62.8	47.6	35.2	26.2	24.1	28.3	34.5	21.4	20.0	21.4	8.3	0.7	-	

(「地域分類」の無回答：35人を除く)

〔「今後、自身が力を入れたい活動」：複数回答・5つまで、「地域分類」：単数回答〕

図表 3-2-19 地域分類別に見た「今後、自身が力を入れたい活動」＜主任＞

(単位%、回答者数は実数)

	今後、自身が力を入れたい活動												
	回答者数	市区町村行政、児童相談室、学校などとの連携・協働活動	子ども子育て家庭を支援する活動の推進	サロンの居場所づくりなど、地域の子どもと子育て家庭を支援するための啓発活動	虐待、不登校などの課題を抱える家庭への個別支援の強化	区域担当の児童委員とのコミュニケーション強化	子どもを犯罪被害から守る地域活動の推進	児童福祉に関するサービスや施策の充実を目指す行政に対する意見具申	災害時の支援に関わる活動の推進、連絡調整	その他	特にない、思い浮かばない	無回答	
主任児童委員	544	67.1	48.3	37.7	33.8	32.7	24.1	8.3	6.4	1.8	0.9	0.6	
地域分類	市部	228	68.9	47.8	36.0	33.8	37.7	23.2	10.1	4.4	1.3	0.9	-
	区部	161	62.1	56.5	44.1	35.4	23.0	27.3	3.7	7.5	2.5	1.2	-
	町・村部	127	68.5	38.6	32.3	33.1	35.4	23.6	11.0	9.4	2.4	-	1.6

(「地域分類」の無回答：28人を除く)

〔「今後、自身が力を入れたい活動」：複数回答・3つまで、「地域分類」：単数回答〕

② 単位民児協の活動は、まちづくりや自主活動の促進が期待されている

今後、単位民児協として力を入れるべきこと（活動面）としては、中堅では「災害時要援護者支援や防犯活動など、地域の安全・安心に関わる活動」がとりわけ市部・町村部に多く、「地域見守りネットワークなど、地域福祉活動の推進」も町村部の割合がやや高い。

区部では、中堅と主任ともに、「子育てサロンやふれあいサロンなど、地域の自主活動の開発・実践」や「多様な世代の人材を地域福祉の担い手として巻き込む活動」が高くなっている。(図表 3-2-20)

図表 3-2-20 地域分類別にみた

「今後、単位民児協として力を入れるべきこと（活動面）」＜中堅・主任＞

(単位%, 回答者数は実数)

回答者数	単位民児協として力を入れるべきこと(活動面)														
	地域の安全・安心に関わる活動	災害時要援護者支援や防犯活動など、地域の見守りネットワークなど、他の住民組織・市民活動等との連携による地域福祉活動の推進	地域の多様な支援ニーズについての発見力を強化する活動	福祉サービスの必要とする人に対する個別の相談支援活動の強化	子育てサロンやふれあいサロンなど、地域の自主活動の開発・実践	活動のためのPR活動	多様な世代の人材を地域福祉の担い手として巻き込む活動	住民の支え合い意識の醸成、差別や排除をなくすための住民への啓発活動	市町村行政などへの意見具申力の強化	関係行政機関の行う事務や業務への協力者としての活動	進	障害児・者や世代間の地域交流活動の促進	ボランティアグループやNPO団体、当事者団体への支援	その他	無回答
中堅委員	507	58.4	44.4	30.2	27.0	25.4	24.9	20.9	12.8	8.7	8.5	5.1	2.8	0.4	1.4
地域分類	市部	173	61.3	43.9	29.5	23.7	26.0	27.7	19.1	15.0	6.4	6.4	4.0	1.2	2.3
	区部	154	54.5	42.2	29.9	26.6	31.8	21.4	29.9	10.4	7.8	9.7	5.2	3.2	1.3
	町・村部	145	61.4	50.3	31.0	28.3	20.0	25.5	13.8	13.8	12.4	9.0	5.5	4.8	-
主任児童委員	544	28.5	50.4	27.2	18.4	35.3	29.6	24.6	11.9	7.2	5.0	10.1	2.6	0.4	2.0
地域分類	市部	228	29.8	53.5	27.6	18.4	33.3	28.5	19.3	10.5	5.3	7.5	12.3	2.6	0.4
	区部	161	28.0	51.6	24.2	16.8	42.9	28.6	31.1	13.7	5.6	2.5	11.2	2.5	0.6
	町・村部	127	27.6	48.0	29.9	18.1	28.3	31.5	24.4	12.6	11.8	4.7	7.1	3.1	0.8

(「地域分類」の無回答：中堅 35 人、主任 28 人を除く)

(「単位民児協として力を入れること（活動面）」：複数回答・あてはまるものすべて、「地域分類」：単数回答)

③ 単位民児協運営に対しては、地域課題に即した基盤整備への期待が高い

今後、単位民児協として組織運営面で力を入れるべきこととしては、中堅と主任ともに、「単位民児協内での委員同士の協力体制の強化」や「関係機関等との役割分担の明確化と連携の推進」、「委員の経験やニーズに応じた研修や研鑽機会の充実」を上位にあげている。

地域別にみると、中堅では、市部と区部で「活動に対する地域住民の理解を得るためのPR活動」が多く、区部ではさらに「情報共有の方法など、連携に際しての関係機関とのルールづくり」も高くなっている。町村部では、中堅・主任共通して「単位民児協の部会や委員会活動の強化」の割合が高くなっている。(図表 3-2-21)

図表 3-2-21 地域分類別にみた

「今後、単位民児協として力を入れるべきこと（組織運営面）」＜中堅・主任＞

(単位%、回答者数は実数)

地域分類	回答者数	単位民児協として力を入れるべきこと(組織運営面)													
		強化	明確化と連携の推進	地域の福祉課題への対応力強化に向けた、関係機関や福祉協力員(福祉推進委員)などとの役割分担の	委員の経験やニーズに応じた研修や研鑽機会の充実	活動に対する地域住民の理解や協力を得るためのPR活動	情報共有の方法など、連携に際しての関係機関とのルールづくり	情報共有の方法など、連携に際しての関係機関とのルールづくり	単位の優先順位づけの検討	単位の優先順位づけの検討	単位民児協の部会や委員会活動の強化	新たな委員の選や推薦など、民生委員推薦会への協力	活動強化に向けた財源確保	ボランティアグループやNPO団体への支援	事務局機能の強化
中堅委員	507	48.7	38.7	36.9	26.8	26.4	26.2	19.7	15.6	9.5	3.6	3.0	0.6	2.6	
地域分類	市部	173	44.5	39.9	37.6	31.8	23.7	26.0	20.2	15.6	9.2	1.7	1.2	0.6	4.0
	区部	154	48.1	41.6	35.1	29.2	33.1	27.9	11.7	15.6	6.5	4.5	1.9	-	1.9
	町・村部	145	53.8	37.2	40.0	20.7	24.1	23.4	28.3	15.9	11.7	4.8	3.4	1.4	0.7
主任児童委員	544	49.4	32.9	33.6	32.9	32.7	17.5	18.0	9.2	5.9	2.4	3.7	0.6	2.6	
地域分類	市部	228	51.3	35.1	36.8	30.7	34.2	19.3	18.0	8.8	2.6	1.8	2.6	-	2.2
	区部	161	46.0	36.0	29.8	34.2	31.1	20.5	11.8	11.8	9.9	3.7	3.1	0.6	2.5
	町・村部	127	49.6	26.8	32.3	37.0	29.1	13.4	25.2	7.9	7.1	2.4	5.5	0.8	3.1

(「地域分類」の無回答：中堅 35 人、主任 28 人を除く)

[「単位民児協として力を入れること（組織運営面）」：複数回答・あてはまるものすべて、「地域分類」：単数回答]

④ 単位民児協会長に期待する役割は、「全員が参加しやすい運営の工夫」と「経験の共有と継承を図ること」が共通して上位だが、地域差がみられる。

今後、単位民児協会長に期待する役割は、中堅、主任に共通して「委員全員が参加しやすいような単位民児協の運営上の工夫」と「経験者と未経験者との情報交流を促進し、経験の共有と継承を図ること」が上位となっている。主任では、「主任児童委員の役割を理解するための取組を推進する」も地域を問わず期待が高い。

地域分類別の特徴をみると、市部・町村部では、中堅・主任ともに「多様な研鑽の機会を設定する」、「他の民児協との交流などの工夫」など、全体に多様な研鑽の機会への期待が高い。区部では、中堅・主任ともに、「委員が抱えている活動上の悩みに対する的確に助言する」、「行政などから依頼に対し、役割分担などを調整する」などがあげられており、会長への期待の内容に違いがみられる。(図表 3-2-22)

図表 3-2-22 地域分類別にみた

「単位民児協会長に期待する役割」＜中堅・主任＞

(単位%、回答者数は実数)

	単位民児協会長に期待する役割																				
	回答者数	協委員の運営上の工夫をする	委員全員が参加しやすいような単位民児	し、経験の共有と継承を図る	経験者と未経験者との情報交流を促進	委員が抱えている活動上の悩みに対し	多様な研鑽の機会を設定する	民児協活動のさまざまな場面において、	視野を養えるような工夫をする	他の民児協との交流を深めるなど、広い	委員の自発的な活動を引き出すよう支援	び、地元での取り組みを検討する	他の民児協の先進的な事例を積極的に学	し、優先度や役割分担などを調整する	行政や地域団体からの依頼に	民児協活動を発揮する	揮えるよう、情報収集力を高める	委員が地域の共通課題や福祉ニーズを	り組みを促進する	主任児童委員の役割を理解するための取	その他
中堅委員	507	52.9	52.3	42.0	38.5	36.5	35.5	30.8	26.0	25.2	22.3	7.7	1.6	4.7							
地域分類	市部	173	54.9	56.1	37.6	44.5	38.2	39.3	28.9	21.4	26.6	15.0	6.4	1.2	4.6						
	区部	154	49.4	50.6	51.9	33.1	26.0	35.1	28.6	30.5	26.6	28.6	6.5	2.6	5.8						
	町・村部	145	55.2	49.0	39.3	40.7	44.8	33.1	36.6	28.3	22.1	25.5	9.0	0.7	2.1						
主任児童委員	544	41.9	46.7	35.5	32.9	32.0	31.1	33.1	17.3	18.8	23.3	37.7	0.9	2.8							
地域分類	市部	228	45.2	50.4	34.6	36.0	35.1	29.4	34.2	14.9	19.7	27.2	39.0	-	1.8						
	区部	161	41.6	46.6	46.0	24.8	22.4	37.3	28.0	22.4	17.4	18.6	39.1	1.9	3.7						
	町・村部	127	40.9	42.5	24.4	37.8	38.6	26.8	37.8	15.0	18.9	21.3	35.4	1.6	3.1						

(「地域分類」の無回答：中堅 35 人、主任 28 人を除く)

〔「単位民児協会長に期待する役割」：複数回答・5 つまで、「地域分類」：単数回答〕